

第10回 美しい日本のむら景観コンテスト

むらづくり対策推進本部長賞

文化部門

—越後の奇祭ほだれ祭—古代文化のふるさと

とちおしもらいでん

ながおかし

新潟県栃尾市下伝伝(現長岡市)



栃尾市は新潟県のほぼ中央に位置し、織物と農業が主産業の町である。写真は、市街地から南へ約7km離れた下伝伝地区で毎年3月第2日曜日に行われる早春の奇祭「ほだれ祭」の様子である。

祭りの原型はすでに江戸時代からあったといわれているが、二十数年前、地元の青年団が中心となって地域の活性化を図るために復活したものである。御神体である「ほだれ様」は道祖神の一つで、高さ2.2m、周囲1.8m、重さは約600kg、県内はもとより日本で最も大きな道祖神であるともいわれている。大勢の参拝者で賑わう祭りのクライマックスでは、御神体に花嫁を乗せ神輿のように担ぎ、人々は「縁結び」、「子宝・安産」、「五穀豊穡」などの願をかける。

雪深い山里ならではの春を告げるまつりである。